

# 沖縄 OKINAWA TIMES タイムス

2010年12月23日 木曜日  
(平成22年) 【旧11月18日・仏滅】

発行所 那覇市おもろまち1丁目3番31号  
(郵便番号900-8678) 沖縄タイムス社  
私書箱 那覇中央郵便局293号 ©沖縄タイムス社 2010年

電話代表 (098)860-3000  
読者センター (098)860-3663

HP <http://www.okinawatimes.co.jp/>

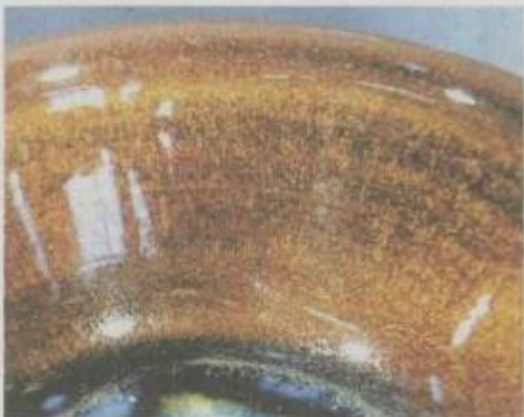
## 虹色のしま模様 焼き上げ成功

【石垣】土とガラスを融合させ、沖縄の海の青を発色させた陶器「石垣焼」を製造、販売する市名蔵の「石垣焼窯元」（金子晴彦当主）がこのほど、「耀変珽玻天目」を焼き上げたと発表した。数百年の茶色い縦線がしま模様をつくる「珽玻天目」の、縦線の一本一本が虹色の光彩を帯びて（耀変して）いて、窯業試験場や国の専門機関は「大変珍しい」と話しているという。

### 石垣焼の金子さん「耀変珽玻天目」

同窯元の作品は世界最高峰のインテリアとデザイン関連の見本市とされる「メゾン・エ・オブ・ジュエ」（2011年1月21〜25日、フランス・パリ）への出品もこのほど決まった。日本貿易振興機構（JETRO）が05年以来、同見本市内に組織する「ジャパンブース」への出品で、ジェットロによると、同機関を通しての県内からの出品は初めて。

金子当主は「今後も沖縄ならではの特色、誇りを器の中へ入れ、日本や世界へ広めていきたい。観光客が沖縄に来る呼び水にもなってくれ



「耀変珽玻天目」の内側。光を当てると、縦じまの一本一本に添った光彩が見られる

## 「国宝目標に」意欲

は」と期待した。  
金子当主によると、今年7月、鉄が主成分の釉薬で珽玻天目の試作をしていたら、器の側面に虹色の光彩を発見。

10月に作品を持ち込んだ東京国立博物館が「間違いなく珽玻天目だし耀変現象だが、これまで見たことがない」という認識を示したという。窯業試験場へサンプルを送って調べてもらったが、報告例は確認できなかったため、金子さんは「耀変珽玻天目」と名付けた。

現在、同天目2点を保管している一方、再現には成功していない。「耀変は人間が知り得ない領域にあるのかも」と苦笑いしながらも「今後も国宝を目標に頑張りたい」と意欲を示した。



「耀変珽玻天目」を示す金子当主「石垣市名蔵・石垣焼窯元」